

阿蘇の価値と国立公園

資料3

- ・草原を中心とした資源利用のサイクルは、火山活動など苛酷な条件のもと、阿蘇の人と自然が千年をかけて作り上げてきたしくみ。
- ・阿蘇の草原はそれによって築き上げられたここにしかない自然環境であるとともに、火山・カルデラ地形と相まって広大な景観を形成。
- ・産業や観光の基盤だけでなく、生物多様性保全、九州の水がめなど公益性も高い。地域文化を形づくる源であるとともに、九州のシンボル。
- ・国立公園阿蘇は、世界的遺産ともいえるこうした阿蘇の価値を支える役割を有し、地域の様々な取組を支える共通の基盤でもある。

火山噴火 → カルデラ地形、火山灰土壌 + 冷涼な気象条件

自然を中心にみた阿蘇地域を構成する要素

- 火山、温泉
- 広く分布する湧水群
- カルデラ地形と草原が織りなす
広大な景観
- 重層的歴史を反映した文化景観

火山と共生してきた暮らし

牧畜や農業による人口の扶養
農耕祭事をはじめ多様な地域文化を継承

(集落単位での管理、垂直的土地利用)

草原を中心とした資源利用のサイクル

草原での採草・放牧利用、野焼き等の維持管理
牛馬の飼養
刈敷きや厩肥利用による耕地の地力維持

自然がもたらす恵み

ここにしかない資源
＝九州観光の中心地
阿蘇の基盤

県内有数の
食料供給地の基盤

6本の一級河川の源流
九州の水がめ

多様な野生生物生息地
＝生物多様性の宝庫

地域コミュニティのつな
がり、地域文化の基盤

地域条件に適合する
安定した土地利用、
レジリエンスの発揮

阿蘇の価値を支える役割をになう国立公園

⇒ 阿蘇の人と自然が千年をかけて作り上げてきたしくみ